

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		1,827,773	1,907,968	1,767,821				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他(個人負担金)	88,000	76,000	76,000				
	市町振興共同事業助成金	1,391,818	604,464	1,353,456				
	一般財源	347,955	1,227,504	338,365				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	中学生海外派遣事業の実施	天正遣欧少年使節の功績を認識し交流を深め、後世へ伝える。		目標	1	1	1
					実績	1	1	1
					目標達成率(%)	100	100	100
	②	派遣中学生の人数	天正遣欧少年使節の功績を学び、互いの文化に触れることで、人間性豊かな青少年の健全育成を図る。		目標	4	4	4
					実績	4	4	4
					目標達成率(%)	100	100	100

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選振 (-) 選振 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 平成24年度の口之津港開港450年記念事業を契機として始まった国際交流事業も今回で4回目を迎えた。少年使節が辿った地を实际訪れ、功績を認識し後世へ伝えるという意味で、ぜひ今後も続けていきたい。また、この4年で少年使節をヨーロッパへ送り出したヴァリニャーノ神父の生誕地であるイタリア共和国キエーティ市との友好交流もより深まってきている。この交流を継続、また深めていくためにもこの事業はぜひ続けていきたい。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		計画・目標どおりの中学生を派遣した。少年使節の功績を再確認した。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)
	実施予定 期 日		天正遣欧少年使節の足跡を辿り功績を認識するためには必要な事業内容である。 イタリア共和国キエーティ市との友好交流のためにも必要な事業内容である。
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		本市は単独事業で毎年中学生の海外派遣事業を行っているが、その他に『天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議』の事業での3年に1回の海外派遣を行っている。しかしこれは構成市町との合同事業であるため統合は難しいと考える。	
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		
(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は困難		より多くの中学生に参加の機会を与えるため、参加者(受益者)の負担を軽減し、自己負担を10分の1で設定している。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					